

日中サービス支援型グループホームの評価結果について

開催日	2026年度第1回町田市障がい者施策推進協議会（2026年4月28日（火））
事業者	株式会社AMATUHI
事業所名	AMANEKU 町田野津田町
評価区分	開設後評価
評価結果	1 評価 町田市では、医療的ケアが必要な方や介助量の多い重度の障がい者が利用できるグループホームを求めています。 評価の結果、上記のニーズに対し、入居者の受入れ状況、人員配置、支援の内容及び質、食事提供、防災、地域資源との関わり、短期入所の活用の各項目について不十分な点が見受けられました。 つきましては、項目2の付帯意見に十分留意し、適切な事業運営を検討してください。また、地域資源や医療機関等と連携し、医療的ケアが必要な方や重度の障がい者の積極的な受入れに努めるとともに、短期入所については、緊急時の受入れが円滑に行えるよう、日頃から万全の体制を整えてください。 2 付帯意見 ①入居者の受入れ状況 ・ 中度・軽度の知的障がいや精神障がいのある入居者が比較的に多い状況（区分3または区分4の方が11名）であるが、今後は介助量の多い重度の障がい者の積極的な受入れに努めること。 ・ 医療的ケアが必要な方について、現状では摘便の必要な方とのことであるが、痰吸引や胃ろう等の必要な方の受入れができるよう、看護師の配置等の体制強化に努めること。また、医療的ケアが必要な方の受入れ基準を具体的に設定すること。 ②人員配置 ・ スポットワークの活用が多く、非常時や緊急時の対応への不安があるとともに、スタッフ間の引継ぎ不足による入居者の混乱や家族からの苦情にもつながっている。支援の質の確保及び安定的なサービス提供のためにも、常勤やスポットワーク以外の非常勤の配置を増やす等の体制強化に努めること。 ③支援の内容及び質 ・ 強度行動障がい者や医療的ケアの必要な方に対して的確な支援を提供できるよう、研修受講だけではなく、スーパーバイザーによる事例検討や振り返りの実施など、支援の質を高める取り組みを推進すること。 ・ 支援の質の維持のため、入居者一人ひとりの障がい特性、生活状況、能力などの項目についての確に把握・分析（アセスメント）し、スタッフ間で共有する仕組みの構築に取り組むこと。 ・ スタッフ間の円滑な支援の引継ぎ（入居者の基礎情報や必要な支援内容等）を実現するため、適切なツールの導入や運用ルールの策定に取り組むこと。 ・ ホーム内における日中活動の充実化を図ること。特に男性入居者の日中活動について、テレビ鑑賞等の受動的なものではなく活動的なプログラムを検討すること。 ・ 入居者の特性に応じたきめ細やかな支援を実現するため、保護者との関わりを深め、信頼関係の構築に努めること。 ④食事提供 ・ 現状は湯煎方式であるが、可能な範囲で手作りの食事を提供できるよう検討すること。 ⑤防災 ・ 地震、風水害、火災等に備えた実効性のある防災計画を作成するとともに、定期的に訓

	練を実施すること。 ⑥地域資源との関わり ・支援困難なケースへの対応力を強化するため、地域資源との連携体制を積極的に構築していくこと。 ⑦短期入所の活用 ・現状では、他市の入居者が多い状況のため、町田市在住の障がい者が必要に応じて利用できるよう空き情報の発信等に取り組むこと。
--	---